

事業番号	11 07 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	まちづくり推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
		実施期間	S43 ~	E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 ○都市計画法の規定により、概ね5年毎に人口、産業、土地利用等の都市計画に関する基礎調査を行い、これを踏まえ県内39都市計画区域において、概ね10年後を都市施設の整備目標年次とする都市計画区域マスタープランや、各種都市計画の決定（変更）を行っている。併せて都市計画審議会及び開発審査会を設置している。 ○まちづくりの主体は市町村であるが、多様化するニーズや専門家の不足などにより魅力のあるまちづくりが困難となっている。 【目指す姿】 ○都市計画に関する基礎調査を実施し、都市計画区域マスタープランや各種都市計画を定め、都市の将来像とその実現に向けての道筋を明らかにする。 【実施内容】 都市計画基礎調査 など																									
	指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分(単位:千円)</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度繰越</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現計予算</td> <td>24,762</td> <td>49,190</td> </tr> <tr> <td>合計(A)</td> <td>24,762</td> <td>49,190</td> </tr> <tr> <td>うち一般財源</td> <td>24,063</td> <td>48,518</td> </tr> <tr> <td>決算額(B)</td> <td>22,317</td> <td>42,105</td> </tr> <tr> <td>職員数(人)</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> </tr> </tbody> </table>				区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	前年度繰越			現計予算	24,762	49,190	合計(A)	24,762	49,190	うち一般財源	24,063	48,518	決算額(B)	22,317	42,105	職員数(人)	2.80	2.80
区分(単位:千円)	H30年度	R1年度																								
前年度繰越																										
現計予算	24,762	49,190																								
合計(A)	24,762	49,190																								
うち一般財源	24,063	48,518																								
決算額(B)	22,317	42,105																								
職員数(人)	2.80	2.80																								
No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況																				
1	都市計画基礎調査実施数	6市町村	10市町村 [↗]	11市町村 [↗]	11市町村	達成																				
2	都市計画マスタープラン見直し実施数	—	—	4区域着手	4区域	達成																				
3	市町村と協働のまちづくり実施件数	—	—	19件	6件	達成																				
4																										
成果指標設定理由	①都市計画区域指定の全44市町村について、一体的な土地利用の隣接市町村が同時に都市計画基礎調査が行えるよう配慮した上で、各市町村が概ね5年毎に調査が行える数値を設定 ②県内39都市計画区域について、都市計画区域マスタープランを平成31年度から5年間で見直すこととし、平成31年度は線引き都市を優先して実施 ③信州地域デザインセンター設置検討委員会による検討に際して、要望のあった10市町村から選定																									
達成状況の分析	①対象となる市町村に対して、年度当初の各種会議での周知や建設事務所を通して地域ごとの調整を行ったため ②令和元年台風により一部の市町が被災し、スケジュールに遅れは生じたが、都市計画区域マスタープランの見直しを開始できたため ③信州地域デザインセンターを開所し、26市町村から36案件の相談を開始したため																									

主な取組	✓ 信州地域デザインセンター（UDC信州）の開所 ・市町村のまちづくりをサポートしていくため、令和元年8月7日に、長野県、UR都市機構、株式会社まちなみカントリープレス、信州大学、東京大学の公・民・学が連携して、「信州地域デザインセンター（UDC信州）」を立ち上げました。 ・設立シンポジウムの開催：シンポジウム出席者 291名 （一般：118名、市町村：128名、UR：30名、その他：15名）
	   <p>【写真】 左：開所式 中：シンポジウム</p>
	✓ 都市計画区域マスタープランの見直し、都市計画基礎調査の実施 ・年度当初に行う市町村都市計画主管課長会議や関係団体が行う会議で都市計画区域マスタープランの見直し、都市計画基礎調査や信州地域デザインセンターの周知（※都市計画区域の整備、開発及び保全の方針のことを「都市計画区域マスタープラン」と言います。）

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしてい きたいか	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護の観点から都市計画基礎調査のデータのオープン化が進んでいない 都市計画区域毎に作られている都市計画区域マスタープランの上位計画である圏域マスタープランが古く、策定から概ね15年経過しているが見直しが進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を秘匿した情報公開の在り方を検討し都市計画基礎調査のデータのオープン化に対応 生活圏の多様化や人口減少を鑑み、地域ではなく圏域単位を基本とした計画の作成を検討

事業番号 11 07 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	まちづくり推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
-----	----------	----	-----	-----	-----------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	都市計画諸費	1,799 千円	736 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	都市計画審議会の開催	直接	都市計画に関する事項の法定審議等を行うため都市計画審議会を3回開催 【都市計画道路の変更：3件（法定審議） 区域区分の変更：1件（調査審議）】
2	都市計画審議会環境影響評価専門委員会の開催	直接	専門委員会を開催する必要がある案件がなかったため未開催

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	都市計画推進費	19,862 千円	40,709 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	都市計画基礎調査業務委託	委託	都市計画の決定に係る人口、産業、土地利用等の基礎調査を11市町村で実施 【小海町、佐久市、東御市、松川町、高森町、大町市、池田町、松川町、信濃町、飯綱町、野沢温泉村】
2	都市計画マスタープラン見直し	委託	線引き都市計画区域である4区域の都市計画区域マスタープランの見直しを委託 【長野、須坂（須坂市・小布施町）、松本、塩尻都市計画区域】
3	信州地域デザインセンター設置運営事業	直接	信州地域デザインセンターの開所、まちづくりの課題把握及び整理 【開所式、設立記念シンポジウムの開催（R1.8.7）】 【26市町村から36案件の相談（中心市街地再生 など）】

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	住宅総務費（開発審査会）	656 千円	660 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	開発審査会	直接	開発許可に関する事項の法定審議等を行うため都市計画審議会を6回開催 【16件（長野地域5件、松本地域11件）】